

## 「令和4年度 四国地方ダム等管理フォローアップ委員会」の開催について

国土交通省四国地方整備局では、管理を行っている直轄ダムを対象とした「四国地方ダム等管理フォローアップ委員会」を下記の日時において開催しますのでお知らせします。

この委員会は、学識経験者により構成され、治水、利水及び環境に関する分析・評価を行い、当該ダム等の適切な管理に資することを目的としています。

## 記

1. 日 時 令和5年3月7日（火）9：00～12：00（予定）
2. 場 所 WEB会議※
3. 議 事
  - （1）各ダムの定期報告書について  
（池田ダム、大渡ダム、中筋川ダム）
  - （2）野村ダムモニタリング委員会の審議結果報告
4. その他 本委員会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各関係機関からのWEB会議にて開催します。本会議は報道関係者に向けてYoutube配信を予定しております。傍聴を希望される方は、電話若しくはメールにて、下記問い合わせ先まで連絡をお願い致します。

令和5年2月28日

国土交通省四国地方整備局

お 問 い 合 わ せ 先  
国土交通省 四国地方整備局 河川部 河川管理課  
TEL：087-811-8320（代）  
メール：skr-kawakan@mlit.go.jp  
河 川 管 理 課 長：柳 忠和（内線 3751）  
○河川保全専門官：酒巻 政夫（内線 3524）  
○：主たる問い合わせ先

1. 令和4年度 四国地方ダム等管理フォローアップ委員会の審議事項について

今回の委員会では、5年に1回作成する定期報告書について、審議して頂く予定です。令和4年度の対象ダムは大渡ダム、中筋川ダム（国管理）、池田ダム（水資源機構管理）です。

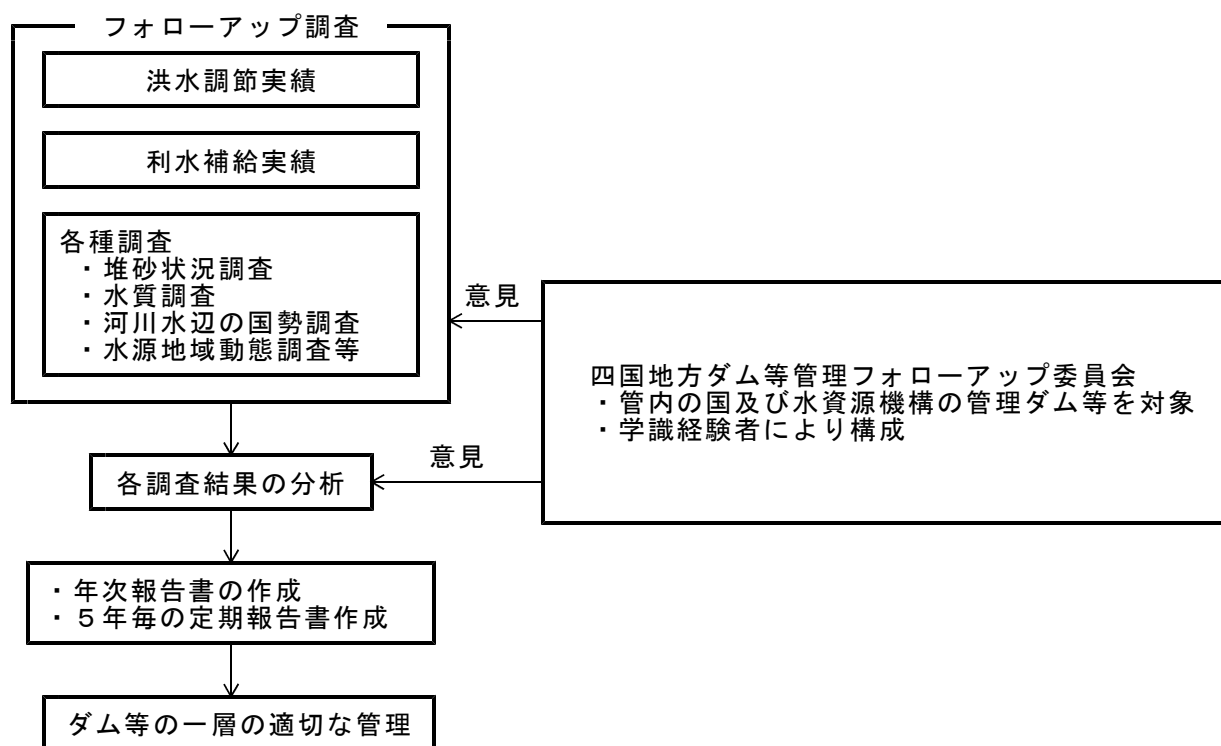
【定期報告書】

- 大渡ダム（仁淀川水系仁淀川）：S62直轄管理開始（4回目の定期報告）
- 中筋川ダム（渡川水系中筋川）：H11直轄管理開始（5回目の定期報告）
- 池田ダム（吉野川水系吉野川）：S50機構管理開始（4回目の定期報告）

2. 四国地方ダム等管理フォローアップ委員会の概要について（参考）

（1）目的

四国地方ダム等管理フォローアップ委員会は、四国地方の国土交通省及び水資源機構が管理するダム、堰（以下「ダム等」という。）の管理及び試験湛水中のダム等について、管理状況のよりの確な把握ならびに環境への影響等の調査（以下「フォローアップ調査」という。）及び結果の分析と評価を、一層客観的、科学的に行い、当該ダム等の適切な管理に資するとともに、ダム等の管理の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図ることを目的に設置されています。



(2) 対象ダム等

対 象 ダ ム 等	
国土交通省管理	柳瀬ダム、石手川ダム、野村ダム、鹿野川ダム、大渡ダム、中筋川ダム、長安口ダム、横瀬川ダム
水資源機構管理	池田ダム、早明浦ダム、新宮ダム、富郷ダム、旧吉野川河口堰、今切川河口堰
計      12ダム、2堰	

(3) 委員会の委員

職 名	氏 名	専 門
松山東雲短期大学名誉教授	松井 宏光 (委員長)	植物
松山東雲女子大学名誉教授	石川 和男	鳥類
高知県立大学教授	一色 健司	水質化学
愛媛大学大学院教授	井上 幹生	魚類
愛媛大学大学院教授	氏家 勲	コンクリート工学
徳島大学大学院教授	上月 康則	水環境
高知大学准教授	中澤 純治	地域経済学
愛媛大学大学院教授	森脇 亮	水工学
愛媛大学准教授	吉富 博之	昆虫類

※委員長を除く五十音順

(4) 委員会の役割

委員会は、フォローアップ調査の内容及びその調査結果について分析・評価を行い、委員の意見を取りまとめ、四国地方整備局長及び水資源機構関西・吉野川支社吉野川本部長に対して、委員会の意見として述べることになっています。四国地方整備局長及び水資源機構関西・吉野川支社吉野川本部長は、委員会の意見を尊重して、その後のフォローアップ調査の実施及び適宜必要な改善対策を行います。

3. 野村ダムモニタリング委員会の審議結果報告について

野村ダム堰堤改良事業（放流管、減勢工の増設）について、貯水池周辺や下流河川等に対する環境影響について調査検討を行い、事業実施による環境への負荷をできる限り回避し、又は低減しているか、その他の環境の保全についての配慮が適切になされているか等について調査部会（野村ダムモニタリング委員会）を設置し、審議頂くもので令和5年2月22日に第1回委員会が開催されました。

令和4年度四国地方ダム等管理フォローアップ委員会では、第1回委員会の審議結果を報告します。